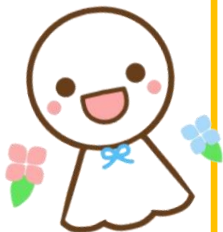


6月トリアだより

6月の活動



月	火	水	木	金	土
					1 屋外 帽子
3 音楽 (早降園日)	4 運動 認知課題 	5 感触・ルール スモック	6 音楽・絵画 スモック	7 運動・手指 	8 休み
10 運動 認知課題 	11 感触・ルール スモック	12 音楽・絵画 スモック	13 屋外・手指 帽子	14 感触・ルール スモック	15 感触 スモック
17 感触・ルール スモック	18 音楽・絵画 スモック	19 屋外・手指 帽子	20 感触・ルール スモック	21 運動 認知課題 	22 休み
24 音楽・絵画 スモック	25 屋外・手指 帽子	26 運動 認知課題 (避難訓練)	27 運動 (早降園日)	28 音楽 お楽しみ会 	29 休み



※専門職の来所予定日

言語聴覚士(永山)：4(火)、6(木)、7(金)、11(火)、12(水)、13(木)、17(月)、27(木)

理学療法士(樋口)：10(月)、15(土)、24(月)、28(金)

作業療法士(大平)：3(月)、5(水)、11(火)、21(金)、26(水)

公認心理師(安藤)：1(土)、3(月)、4(火)、6(木)、8(土)、10(月)~14(金)、18(火)
20(木)、21(金)、25(火)~28(金)



・持ち物全てに記名をし、持たせて下さい。また、記名がない場合は事業所にて記名をさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願い致します。

※当日のキャンセル連絡は、9時00分までに連絡をお願い致します。9時00分以降の連絡になりますと昼食代(297円)が発生します。

・活動時間確保の為、9時50分～10時15分までに登園下さい。10時15分までに登園されない際は、ご連絡させていただきます。

・降園時の引き継ぎを13時30分頃より開始しています。13時45分までに来所されない場合は、一度ご連絡させていただきます。

・下着(パンツ)の貸し出しがあった際は、未使用の物を返却して頂きますよう、よろしくお願い致します。

・お子様のことで悩み事や困り事等ありましたらご相談下さい。コドモンや交換ノートを必要に応じてご利用下さい。

・トイレトレーニングを行っている方は、トレーニングセット(パンツ、スポン、Tシャツ、肌着、ビニール袋)を袋にまとめて準備をしていただきますよう、お願い致します。

・着替えた衣類を入れる袋を、必ず持たせて下さい。(スーパーのビニール袋等で構いません。)

・歯ブラシ・歯ブラシコップを巾着に入れて毎回トリア利用の際に持参してください。



横書きのはじまり

日本語には縦書きと横書きがあります。世界的にみると2種類の書き方がある言語は珍しいのだそうです。時々、ひらがな練習中のお子さんについて保護者の方から、「横書きの文字は読むのも、書くのも、右からなんです」という相談があります。日本語は左から右へ書く「左横書き」ですので、確かに右からでは意味が合わなくなってしまいます。

私は子どもさんの発達を考えながら、ふと、「昔の日本では右横書きだったのでは？」という疑問が浮かびました。古い新聞の見出しなどで見かけたことがあります。いつから「左横書き」になったのでしょうか。

日本の文字は漢字が入ってきた時にできたもので、もともと縦書きしかありませんでした。横書きは幕末～明治にかけて、横書きのヨーロッパの文字が入ってきたことで始まり、それまでの慣習(縦書き・右から左へ行を進める)や外国語への知識不足から右横書きと左横書きが混在していたようです。太平洋戦争前に右横書きが優勢になる時期を経て、1950年ごろ「なるべく広い範囲にわたって左横書きとする」と公用文作成の基準が定められ現在に至っています。私たちの「左横書き」の歴史は意外と浅いようですね。一つの文字の書き順も左から右ですし、右利きの人が右横書きで書くと手で文字がこすれてしまうので、自然なことかもしれません。

さて、子どもの読み書きの発達は、生活の中のさまざまな場面で文字に触れ、文字の形や働きに気づくようになることから始まります。自分でも文字と音を結びつけて、読むふりや書くふりをするようになり、いくつかの文字を読めるようになっていきます。ただし、いくつかの文字を拾い読みできるようになっても、すぐに読みながら意味が理解できるわけではありません。単語のまとまりや意味の区切りに気づくのは少し後になります。書くことになると更に時間がかかります。その過程で文字の並びの規則性に気づかず、右から読んだり、書いたりしてもさほど心配はいりません。書くことに関しては鉛筆の操作に慣れていないことも関係しているでしょう。保護者の方がよく気にされる鏡文字(文字の左右が逆になる)も左右・上下の形の認識が未熟な幼児期には比較的よくみられます。まずは規則性などは気にせず、自由に読んだり、書いたりすることを楽しむのが大切だと思います。

読み書きだけにかかわらず、子育てには疑問や不安に思うことがたくさんあると思います。

お伝えできること、一緒に考えられることがあると思いますので、気軽に私たちにお知らせください。

言語聴覚士 仮上 桃子

